

# 組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	農業政策課
職	課長
氏名	竹本 重久

<b>組織の使命・役割</b>	<b>何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か</b>
認定農業者の企業的経営体への誘導及び集落営農組織の積極的な法人化を図ることにより、効率的かつ安定的な担い手の確保及び集落営農の安定的な持続を推進する。 また、就農を希望する後継者・就農希望者への支援により次世代の担い手の確保・育成を図る。	



<b>組織の目標</b>	<b>使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か</b>				
<b>(定性的目標)</b>	<b>何をどのような状態にしたいか</b>				
①②効率的かつ安定的な企業的経営体(認定農業者、法人化を目指す集落営農組織)が本県の農業生産・農地利用の大宗(約8割)を担うような農業構造の実現及び次世代の農業を担うために必要な農業従事者の安定的な確保と資質の向上					
<b>(定量的目標)</b>	<b>具体的な指標、目標値を設定する</b>				
<b>目標とする成果指標</b>	<b>現行値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値の設定根拠(他県との比較など)</b>
①認定農業者数と集落営農組織数	調査中 経営体 182	H25年度	900 経営体 400	H27年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン 上段:認定農業者 下段:集落営農経営
②担い手への農地の利用集積率	59%	H25年度	80%	H27年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン



<b>26年度に重点的に取り組むべき課題</b>	<b>左記の具体的な内容を記載する</b>
①消費者等を含む幅広い農業人材の育成	農業者のみならず、流通・販売業者から消費者に至るまで、広く県民全体を農業人材と位置づけ、農業に関する相談・マッチングや「いしかわ耕稼塾」などの取り組みにより、多様な農業人材の育成を図る。
②地域の中心となる経営体への農地集積の促進	平地で20～30ha等の経営体が大宗を占める構造を実現するため、地域農業の中心となる担い手や地域農業の在り方を示した人・農地プラン作成の支援を行うとともに、担い手に農地を託す農地所有者等への助成を行う。